

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第3区分

【発行日】平成24年2月16日(2012.2.16)

【公開番号】特開2010-62700(P2010-62700A)

【公開日】平成22年3月18日(2010.3.18)

【年通号数】公開・登録公報2010-011

【出願番号】特願2008-224316(P2008-224316)

【国際特許分類】

H 04 R 3/00 (2006.01)

H 04 N 5/225 (2006.01)

H 04 R 1/40 (2006.01)

【F I】

H 04 R 3/00 320

H 04 N 5/225 Z

H 04 R 1/40 320 A

【手続補正書】

【提出日】平成23年12月26日(2011.12.26)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

音響空間に配置される1または複数の音光変換器であって、各々がマイクロホンと該マイクロホンの出力信号に応じて発光する発光部とを有する1または複数の音光変換器と、前記音響空間の映像を撮像し、その映像を表す映像信号を出力する撮像装置と、前記撮像装置から出力される映像信号を送信する送信装置と、前記送信装置から送信されてくる映像信号を受信し、その映像信号の表す映像にて前記1または複数の音光変換器の各々に対応する光点の発光態様の時間変化から1または複数の音信号を復元する受信装置と
を有することを特徴とする音場伝送システム。

【請求項2】

前記受信装置は、前記送信装置から受信した映像信号の表す映像における各光点の発光態様の時間変化から復元した1または複数の音信号の各々を与える1または複数のスピーカの音響空間における配置位置を示す位置情報を予め記憶しており、前記送信装置から受信した映像信号の表す映像における各光点の位置と前記位置情報とに基づいて光点毎に前記1または複数のスピーカの何れかを対応付け、光点の発光態様の時間変化から復元した音信号を該光点に対応付けたスピーカに与えることを特徴とする請求項1に記載の音場伝送システム。

【請求項3】

前記送信装置は、前記1または複数の音光変換器の各々について発光部の発光輝度のバラつき補正するための係数を音光変換器毎に予め記憶しており、前記撮像装置から出力される映像信号の表す映像における各光点の輝度を前記係数に応じて補正して前記受信装置へ送信することを特徴とする請求項1に記載の音場伝送システム。

【請求項4】

前記受信装置は、前記送信装置から受信した映像信号の表す映像における各光点の発光態様の時間変化から復元した1または複数の音信号にミキシング編集を施し、1または複

数の新たな音信号に振り分けて出力することを特徴とする請求項 1 に記載の音場伝送システム。

【請求項 5】

前記 1 または複数の音光変換器の各々が有する発光部は赤外線 L E D (Light Emitting Diode) であり、前記撮像装置は赤外線ビデオカメラであることを特徴とする請求項 1 に記載の音場伝送システム。